

	地域ブロック	分類	用水名	所在地	管理者	NPO,住民との関係	概要・その他	水源	報告者	調査団体候補	備考
1	1北海道	B	茂漁川の旧河道を利用した環境水路	北海道恵庭市	恵庭市		・茂漁川のふるさとの川モデル事業によって整備された環境水路。ショートカットされて取り残された旧河道に茂漁川本川より導水して、環境美化を図ったものであるが、結果として生態系が回復され、また、景観が著しく向上した。	河川	菊池 静香	NPO法人水環境北海道	
2	* 1北海道	B	恵み野ニュータウン農業用水路	北海道恵庭市	恵庭市		・恵み野ニュータウンの造成に伴い整備された中央公園の水路地区内の農業用水路を中央公園の景観向上のため整備したもの。用水路を公園的に整備したのは、ここが全国で最初と思われる。水源は茂漁川。	河川	菊池 静香	NPO法人水環境北海道	
3	* 1北海道	AB	ホリカン川	北海道北見市	北見市企業局 下水道課	地元町内会代表からの意見収集や整備方針に関するアンケート調査の実施により、地域住民の意向を反映させた「自然的整備方針」を策定し、行政と住民とで方針を確認し、計画設計を進めた。	暗渠整備により失われたホリカン川の創造的復元を目指し平成4年より水循環再生下水道モデル事業として、雨水幹線上部のオープンスペースを利用し、せせらぎ水路、遊歩道、植栽などの整備による快適な水辺空間の創出を行った。	・下水処理水		NPO法人水環境北海道	
4	2東北	AB	六郷堀・七郷堀	宮城県仙台市若林区地内	仙台市経済局	・地域都市住民の長い間の要望であり通年通水(非かんがい期の通水)が実現し、仙台水循環プランの中で実験し、実施にこぎつけた	仙台平野を涵養する農業用水路・江戸時代につくられる	河川	高橋 万里子	NPO法人水環境ネット東北	昨年度(三菱総研)ヒアリング調査済み
5	* 2東北	AB	秋田県仙北郡農業用水(イバラトミヨが生息する湧泉の里づくり)	秋田県仙北郡千畑町	秋田県仙北平野農村整備事務所 土崎小荒川地区環境保全連絡調整会議	・地区内に残る大小12の湧泉(しず)と、そこに連なる水路に絶滅危惧種であるイバラトミヨ雄物型の生息が確認され、湧泉とともに、イバラトミヨが生息する里づくりを進めようと平成12年2月に地元有志による「トゲウオの会」を発足。ほ場整備事業者にも働きかけ環境保全型事業についての合意を得、土崎小荒川地区環境保全連絡調整会議を設立し事業を展開している。湧泉や水路の維持管理作業を協働で行っているほか、「しずの学校」を開催し、地域の農業や自然環境について地域住民や子ども達が体験、学習する機会となる活動を行っている	・生態系保全型水田整備推進事業」として生物/環境調査のほか、秋田大学とともに地下水の調査も事業の中で実施している。特に生態系への大きい湧泉は保全型で現状保存、修復(浚渫)、移設(代償)され、整備に当たっては貴重種ほか生息生物を一次避難や底土の再利用が行われた。一部整備により湧水が埋設されイバラトミヨの生息地消滅の代償措置として新たに古シズを導水した水路を整備した	湧泉		NPO法人水環境ネット東北	・「しずの学校」は、「田んぼの学校」の一つとして、地元の有志による「トゲウオの会」と秋田県立短期大学農業工学科が共同で開催し、秋田県仙北平野土地改良事務所、秋田県立男鹿水族館が協力
6	* 2東北	B	安積疎水(公共下水道)	福島県郡山市	郡山市下水道部 下水道維持課 TEL:024-924-2791 FAX:024-938-2920 gesuijji@city.koriyama.fukushima.jp	・遊歩道は災害時の避難道路としての役割も兼ねており、車椅子の利用者にも配慮したバリアフリーで施工している。施設名称は市民からの公募により決定した。整備後は、市民の散策や憩いの場として親しまれているほか、近くには総合病院や学校施設もあることから、患者のリハビリ、子供たちの自然観察の場としても利用されている。	・郡山市の中央を流れる公共下水道114号雨水幹線を二重構造にし、水循環再生モデル事業で上部空間に浄化した雨水を流すせせらぎを設けた。また、せせらぎの周りに車椅子でも通行可能な遊歩道、四季の草木が楽しめる植栽等を設け、住民が水と緑にふれあえる施設として整備した。延長約1kmのせせらぎの周辺には四阿(あずまや)やベンチ、街灯なども設置されており、土日には多くの家族連れが訪れるなど住民の憩いの場として「せせらぎこみち」の愛称で親しまれている。	雨水		NPO法人水環境ネット東北	
7	* 2東北	A	宮城県宮崎東部地区農業集落排水路	宮城県加来町宮崎沼袋地区高田地区	宮城県古川地方振興事務所 〒989-6117 宮城県古川市旭四丁目1番1号 古川地方振興事務所農業農村整備部(宮城県古川合同庁舎4階) TEL:0229-91-0701 FAX:0229-23-5014 E-mail:hknnbkt@pref.miyagi.jp(計画調整班)	・環境に配慮した農業集落排水路整備事業として、平成15年より3年かけて2地区の集落住民参加での「環境にやさしい水路づくり」を試行。その協働運営をNPO団体にコンペで依頼し、計画、設計等全員参加型のワークショップで実施した。住民と行政、改良区など関係者の議論の結果を尊重しながら、生物に配慮した環境水路「かつての使い遊べる水路の復元」を実現した。		河川	相楽 治	NPO法人新潟水辺の会	
8	* 3関東	A	那須野ヶ原用水	栃木県那須野ヶ原	水工里不ツ那須野ヶ原(那須野ヶ原土地改良連合) http://www.nasu-lid.or.jp/ 〒329-2807 栃木県那須塩原市接骨木447-8 TEL:0287-36-0632 FAX:0287-37-5334	・田んぼや農業用水路、調整池等の土地改良施設の多面的利用を推進し、親水事業の整備や用水路ごとの「水路愛護の日」を設置して地域総出の一斉清掃を行うなど、非農家を含めた地域住民に対する啓発と参加も促している。・那須疎水を始めとする土地改良施設等を地域財産とし、歴史的背景、施設の機能等について総合学習でも取り上げられており、講師の派遣なども行っている。	・那須野ヶ原4万haの健全な水循環システムの構築をめざし、その一環として、河川、用水等の取水・洪水調整等の水循環のための水管理を水管理センターで一括管理を行っている。	河川		NPO法人全国水環境交流会 / NPO法人多摩川センター	

	地域ブロック	分類	用水名	所在地	管理者	NPO,住民との関係	概要・その他	水源	報告者	調査団体候補	備考	
9	3関東	AB	落合川	東京都東久留米市	東京都下水道局	・市街地の身近な川でありながら湧水を集めた自然豊かな清流である。東久留米にホテルを呼び戻す会」など地域住民によって「フェンスを外して川に入るうの合言葉でわくわく川遊び」が行われるなど、地域住民で自ら川をきれいにして川に触れ合おうとする運動が行われている。	・落合川は、黒目川（荒川水系）の支流で、全長約3キロ程の小河川。南沢緑地など4箇所の湧水を集め流れる。 ・東久留米市の湧水と清流を守る条例」が議案提出（平成17年3月市議会）されている	湧水				
10	3関東	A	高沼（こうぬま）用水	埼玉県さいたま市	さいたま市	・1981年代より地域の自然・文化、環境保全に関心を持つ地域住民を主体とする市民活動が行われるようになり、管理する市でも今後の保全・整備を市民と協働で進めるべく整備方針の検討を進めている。 ・1997年に設立した「こうぬま 水と緑を楽しむ会」が、高沼用水の保全を通じた市民が憩える水辺づくり、まちづくりを提案する活動を行っている。自治会や行政と協力しながら、定例的な護岸整備や畑作業などのほか、用水周辺の自然を活かして子ども達を対象にした自然で楽しむことをテーマとするイベントを手作りで実施している。	・享保年間の新田開発の一環として拓かれた高沼用水は、見沼代用水から分水して地域水田を潤し鴻沼川に排水している。見沼代用水とほぼ同じ構造で270年以上経過した現在も当時の面影を残す歴史的遺構であり、周辺地域の市街地開発規制により豊かな自然環境が残っている。	河川			第6回「川の日」ワークショップ入賞 / 埼玉県立いずみ高校 生物部（こうぬま 水と緑を楽しむ会所属）	
11	3関東	B	大丸用水	東京都稲城市	大丸用水土地改良区		・都市化に伴う農業用水網全体の見直し、新しい都市構成の中での保全・再生策が図られ、街中の親水性や果樹園と調和した水路空間の創出、水路内部での水質浄化システム、生態系保全等に留意した水路の保全、修景が行われた。 ・郷土を潤し歴史をつくる」用水として、水路に沿った散策路の設置や関連施設やまちなみとの調和を図った用水路の環境整備として大丸用水緑地が整備された。	河川				
12	*	3関東	B	足立区農業用水路の再生	東京都足立区	足立区土木部計画調整課		・水路、河川をまちづくりの核とし、都市自然の保全、再生とともに、農業用水路をまちづくりのなかで環境用水としての新たな機能をもたせる整備が行われた。 ・葛西用水親水水路、五反野親水緑道等、歴史性を残しつつ、都市防災（消防用ポンプヒットの設置等）、アメニティ等を備えた親水水路として再生した。 ・暗渠化している水路についても、雨水流水抑制施設や多目的貯留施設として利用。	河川 雨水		NPO法人全国水環境交流会 / NPO法人多摩川センター	
13	*	3関東	AB	柳瀬川 空堀川（新河岸川支流）	東京都清瀬市	東京都建設局河川部	・河川改修による旧河川（610m）を市民提案のふるさと創生事業として地下水を利用したせせらぎ水都を軸に「自然学習園」として計画。行政（東京都・清瀬市）と市民からなる「案づくり懇談会」で造成プランを作成し、「せせらぎ公園」として完成した。隣接する小学校の跡地に池、水田、岩石園、流水実験施設、管理棟（学習室）等を設置。 ・地域住民による「川づくり・清瀬の会」市民団体が関与 ・柳瀬川沿いにある金山調節池は、柳瀬川の中流域の洪水を調節する施設（貯留量は約46,000立方m）で、池周辺からの湧き水が豊富なため、池には湿地性の生態系が形成されている。この生態系を保全していくため、市民、清瀬市、東京都からなる「金山調節池保全ワークショップ」を発足し、市民と行政が協働して、調節池の生態系保全管理を行っている。	河川 （せせらぎ公園水路） 湧水 （金山調節池）		NPO法人全国水環境交流会 / NPO法人多摩川センター		
14	3関東	AB	日野市内用水	東京都日野市	日野市環境共生部 緑と清流課 水路清流係	・「用水守制度」特定の活動範囲での清掃、保全、緑化等、市内の用水路、河川、湧水地を市と連携・協働による維持管理活動を行うボランティア活動に対し、市がボランティア保険をかける登録制度（登録資格 個人・グループ 企業等） ・「日野市湧水・水辺保全利用計画」づくり市内の湧水や湧水の流れる水路、水辺を保全するため、市民、学識経験者、市職員による検討を行い2004年6月に策定	多摩川と浅川に挟まれその恵みを受けた湧水や水路網を有する日野市では、緑と清流課が組織されその水路清流係では「日野市公共水域の流水の浄化に関する条例（清流条例）」に基づき、河川や用水、湧水などの浄化や年間通水の確保に関する業務を行っているほか、「水辺に生態系を」をスローガンに生態系や景観等に配慮した水辺環境の保全、創出、維持、復元、再生などに取り組んでいる。	河川 湧水				

	地域ブロック	分類	用水名	所在地	管理者	NPO,住民との関係	概要・その他	水源	報告者	調査団体候補	備考
15	3関東	AB	よそぎ森堀 向島親水水路	東京都日野市	日野市環境共生部 緑と清流課 水路清流係	・「よそぎ森堀」昔ながらの姿を残した用水路を保全するため、自然素材を多用した改修が行われ、維持管理を市と地域住民が協働で取り組むしくみを作った ・向島親水水路：農水省の「水環境整備事業」として、農業用水を都市の中の身近な自然、親水、生態系の空間と位置付け、隣接する小学校（潤徳小学校）の学校用地にトンボ池と自然度の高い用水路を一体的に整備した。管理分担等維持管理は、市、用水組合、小学校、地域住民による話し合いで決められ、行われている。		河川			
16	3関東	B	黒川清流公園 (東豊田緑地保全地域)	東京都日野市 東豊田	日野市環境共生部 緑と清流課		・かつて山葵田として利用されていた日野段丘の段丘崖からの豊富な湧き水と雑木林の斜面地を活かした湧水公園。野鳥や昆虫も多く見られる。隣接の多摩平第一緑地と共に東京都の緑地保全区域に指定されている。面積約6ha。公園の南側には、道路に平行してせせらぎが創られている。	湧水			
17	3関東	AB	程久保川	東京都日野市	国土交通省京浜河川事務所 東京都建設部	・程久保川・浅川・多摩川の3つの川の合流点に魚や植物が生きやすいように静水域「フンド」が形成されました。市民グループが日野市に働きかけ整備されたもので、フナやコイ・ドジョウ・ヌカエビなど10種類以上の魚の生息が確認されている。	・東京都日野市程久保に始まり、多摩動物公園や高幡不動尊の目の前を経由して多摩川へ注ぐ、総延長4kmほどの、多摩川水系右岸側の支流。古い名前を「谷戸川」と言い、湧水に端を発し、河岸段丘を穿って里山に谷を形成している。谷戸や谷津と言われる典型的な農村風景を作り上げた川でもある。日野市南部の重要な農業用水源であったことはもちろん、以前は向島用水や高幡用水、落川用水などと連携した利水が行われていた。現在は急激な都市化に伴い、街を通り過ぎる主に雨水排水機能を期待された小川として流れている。	湧水			
18	3関東	A	鶴見川源流 いずみの広場 小山田緑地	東京都町田市	町田市 鶴見川源流ネットワーク 事務局 E-Mail: office@genryu-net.jp	・泉ひろばの管理は、「水辺生物管理会」(町田の自然を考える市民の会 / 鶴見川源流自然の会 / 鶴見川源流ネットワークにて構成)が、町田市と連携して、毎月2回(第2,第4日曜日)水辺の生物の調査・ひろばの草刈り・清掃など、生物多様性を重視した管理作業を行なっている。 ・小山田緑地のアサザ池は1994年春に整備が始まり、その完成後から鶴見川源流ネットワークが毎月第二日曜日の午前、生物の調査を中心とした活動を続けている。2000年の夏からは、毎月第四日曜日の午前に、草刈りやピオトープづくりなどの管理作業も行ない、池上手にあるトンボ牧場とともに、生物多様性を考えた池づくりをめざしている。	・鶴見川源流の田中谷戸は、アブラハヤの繁殖し、日量1,300トンの湧水を誇る「源流の泉」がある。源流の泉周辺は、町田市により約2,500平方mの「泉ひろば」として整備され、1995年に完成。計画・立案には市民グループのアイデアも活かされた。 ・さらに1998年・1999年春には、鶴見川流域サミット(1996年)の成果を受けて、泉ひろばの拡張が行われ、駐車場の新設、車イスで移動できるスロープデッキの設置など、福祉と連携した水辺づくりの流域第1号となった。 ・都立・小山田緑地は多摩丘陵の南部に位置する、147haの都市計画上の緑地で、その小さな谷(津保沢)には湧水を利用したトンボ池やアサザ池が整備されている	湧水		NPO鶴見川流域 ネットワーク / 有限会社 流域法人 バクハウス	
19	3関東	AB	古川 境川親水公園	東京都江戸川区	江戸川区土木部計画課 水と緑の推進係	・古川親水公園の建設と同時に地元町会・自治会により「古川親水公園を愛する会」が結成され、清掃等の活動を行っている。	・古川親水公園：1974年完成、公園延長1200m、水源(旧江戸川)わが国初の親水公園。夏季には浄化処理水が通水され、護岸形状はやや人工的だが、近隣の子供たちの遊び場にもなっている。 ・小松川境川親水公園：1984年完成、公園延長3930m、水源(新中川)。2000年より夏季のみ浄化処理水を通水している。	河川 浄化処理水(夏期のみ)			
20	3関東	B	天水(あまみず)の庭	東京都大田区 久が原	聖フランシスコ子ども寮 (雨水施設設計 設計計画水系デザイン研究室)		・児童養護施設に雨水貯留槽(敷地内地下、29t)を設置し、それをういて池や水路などの子ども達が水や生物に親しむピオトープを造った。	雨水		NPO法人全国水環境 交流会 / NPO法人 多摩川センター	
21	3関東	B	ルミナス武蔵小金井 (環境共生型集合住宅による雨水利用)	東京都小金井市			・環境共生住宅の施設のの一つとして雨水を利用している。集合住宅の中庭に延長60mの水路型のピオトープを設置し、メダカを主とした小川の生態系を誘導している。 ・雨水循環装置、自転車置き場の地下にある貯留槽から太陽電池電源によるポンプで揚水している。 ・雨水の用途は、中庭のピオトープの循環水のほか、屋上緑化・立体花壇の灌水、そして屋上の家庭菜園にまいたり、手を洗ったりするための雑用水として利用	雨水		NPO法人全国水環境 交流会 / NPO法人 多摩川センター	
22	3関東	A	新八(しんぱち)水路 (江戸川河川敷)	東京都葛飾区 柴又地先江戸川高水敷	江戸川区環境課・公園管理課	・市民提案により再掘削し、「自主生きもの調査団」が調査と維持管理を協働で行い10年になる		河川	君塚 芳輝		

	地域 ブロック	分類	用水名	所在地	管理者	NPO,住民との関係	概要-その他	水源	報告者	調査団体候補	備考
23	3関東	B	野火止用水 千川用水 玉川上水	東京都下 (武蔵野市など)	東京都建設局		<ul style="list-style-type: none"> 東京都の清流復活事業は、枯渇した用水路や中小河川に清流を復活させ、身近に親しめる水辺空間をよみがえらせようとするもので、多摩川の河川水に替えて下水処理水を利用することにより、昭和59年に野火止用水、昭和61年に玉川上水、平成元年に千川上水を復活させた。 下水処理水は、昭島市にある流域下水道多摩川上流処理場の2次処理水の臭気、色度、リン等をさらに除去した高度処理水を38,200m³/日送水している。供給している処理水は、多摩川上流処理場から約9km離れた調整槽までポンプ圧送され、そこから野火止用水に5,000m³/日、玉川上水に23,200m³/日、千川上水に10,000m³/日、それぞれ分水されている。 	下水処理水			
24	3関東	B	追分トンボの王国	神奈川県横須賀市	横須賀市上下水道局 水再生課 下水道部下水経営課		<ul style="list-style-type: none"> 貝山緑地に隣接している地理的条件を生かし、再生水(下水処理水を更に砂ろ過した水)を利用して整備された「トンボの王国」は、三浦半島のトンボを主たる対象とし、ギンヤンマを始めとして10種類以上の発生を確認している。平成8年から、実験池等、施設の一部の公開を始め、平成10年度に、最近見ることが出来なくなったメダカの小川などを含めた修景施設も設置している。 	下水処理水			
25	3関東	B	渋谷川・目黒川・呑川	東京都渋谷区・目黒区・世田谷区・大田区	東京都建設部		<ul style="list-style-type: none"> 都の南部を流れる渋谷川、目黒川、呑川は、都市化にとまらぬ、水源が枯渇、川の水量は減少し、コンクリート河床があらわになった。 東京都の清流復活事業として、平成7年から落合処理場で高度処理された下水処理水を3つの川に送水している。この送水によって、アユの生息が確認されるなどの水質改善や、川の眺めをいかした公園の整備も進み、地域住民によるクリーンアップ作戦や桜祭りが行われるなど人々に親しまれる水辺空間が戻ってきた。 	下水処理水ほか			
26	3関東	AB	江川せせらぎ	神奈川県横浜市	横浜市環境創造局 総合企画部環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> 桜並木をはじめ、四季折々の花が楽しめるせせらぎ沿いの緑道は、地域住民の憩いの場となっており、平成11年、地元町内会、企業からなる水辺愛護会は旧建設省の「手作り郷土賞」を受賞している。 沿川の企業が社内にプロジェクトチームを作り、かつて地域に飛び交っていたホタルの育成を図り、せせらぎ水路の一角を「ほたる広場」とし、育てたホタルを放流する活動を行っている。 	下水処理水ほか			昨年度(三菱総研)ヒアリング調査済み	
27	3関東	AB	氷取沢小川アメニティ	神奈川県横浜市	横浜市環境創造局 環境活動推進部 環境活動事業課 環境施設部 水・緑管理課	<ul style="list-style-type: none"> 氷取沢市民の森愛護会による活動のほか、松下電器産業(株)による企業の社会貢献の森林保全実践活動としてクリーンアップ活動(下草取り)、自然観察会、自然クラフト、育林体験などが共同で行われている。 	湧水 雨水				

	地域ブロック	分類	用水名	所在地	管理者	NPO,住民との関係	概要 その他	水源	報告者	調査団体候補	備考	
28	*	3関東	AB	今井川いこいの水辺 (横浜市水と緑のプロムナード事業)	横浜市保土ヶ谷区今井町	横浜市下水道局	・水と緑のプロムナード事業では市民提案による地域資源を活かした都市環境創出として、市内にある水路を地衣資源として活用するため、地域で求められている都市環境について計画段階から周辺の小中学校、自治会、商店街等、活用に向けた提案を聴取し、地域コミュニティの場としての活用を図っている。 今井川いこいの水辺では、今井川をめだかの棲める場所にしたい」という地元の意見に基づき、生きものの生息環境の創出エリア、日常的な散策等を中心とするエリアなどが整備された。 近隣の藤塚小学校では、環境学習の一環で、憩いの水辺の水生植物やカワニナ、メダカ等の生きものの生態観察などにも利用している。 整備に際して計画段階から地元説明会を開き、地域住民の意見を取り入れたパートナーシップ事業として進められた	・市街地において、下水道の整備に伴い水辺が失われた場所で、雨水官の整備に併せ、自然の湧水等を水路上部に導水し、市民提案を活かし、周辺の地域の環境にあわせた整備を行い、水と緑のネットワークとしての活用を図っている。	湧水		NPO鶴見川流域ネットワーク/有限会社 流域法人バクハウス	
29	*	3関東	AB	江川せせらぎ(遊歩道)	神奈川県川崎市 市中央部、南部線武蔵新城駅近くから鶴見川支流の矢上川合流点まで	川崎市建設局	・下水道の処理システムを、よりわかりやすく市民に理解してもらうことを目的に下水処理水を利用して、浄化センター内にピオトープを作り、メダカの飼育を始めた。このピオトープは、市内の飼育愛好家、学識者、企業、行政による「メダカ連絡会」のメダカ保全活動の一環として、市民参加で作られた。	・江川せせらぎ遊歩道は、河川としての役割を終えた江川の跡地を利用して、下水道整備による新しい都市空間の創造をめざしたもので、延長約2,400mの水路で、建設省(現国土交通省)のモデル事業として整備され、平成15年6月に完成した。 遊歩道は、「湧水の小径」桜のプロムナードなどの8つのゾーンに分かれ、テーマごとに植物や自然石等の配置に工夫を凝らし、水や緑にあふれた空間としている。 遊歩道の脇を流れるせせらぎには、等々力水処理センターで下水を高度に処理した水(15,500m ³ /日)を利用して	・下水処理水ほか		NPO鶴見川流域ネットワーク/有限会社 流域法人バクハウス	
30		4中部	AB	メダカのピオトープ池	福井県武生市	武生市		・下水処理水				
31	*	4中部	A	中正井(天竜川水系の農業用水路)	長野県伊那市東春近	中正井の自然を愛する会	・農業用水路の老朽化に伴う改修工事計画に対して、管理する地域住民から多自然型で行う要望が出され、県を始め行政も協働する姿勢を示した。地域住民による管理組織「中正井の自然を愛する会」が発足し、土地総、県との協議により、工事の一部区間を(φ80m)を自然型で実施。 改修工事に関わる一つ一つの事業を、地域や子供たちのイベントとして行うなど、生態の保全とともに地域交流や農業振興も図られている。	・事業としては、県営土地改良総合整備事業上殿島地区の排水路改修事業	河川		市民団体 天竜川ゆめ会議	第7回 川の日 WS準グランプリ受賞 / 長野県上伊那農業高等学校 緑地班(中正井の自然を愛する会所属)
32	*	4中部	AB	堀川	愛知県名古屋市	名古屋市堀川総合整備室 (TEL052-972-2891) 河川管理者: 愛知県河川課環境担当 (TEL052-954-6556)	・市民による運動として、堀川千人調査隊(堀川ライオンズクラブ)による庄内川から導水量増量に関わる影響調査、クリーン堀川(市民団体)の一斉大清掃、堀川を考える小学生の集い、船を利用した探索等がある	・元々、木曾川導水からの注入計画があったものの中止され、暫定的に地下鉄工事で湧き出た地下水の導入や大規模な署名活動による庄内川からの試験導水と改善効果実験などを経て、庄内川からの(環境浄化)導水運用が実現。	河川 地下水	近藤 朗	愛知川の会	第5回・第6回 川の日」WS 堀川とまちづくりを考える会」応募
33	*	4中部	AB	鳥屋野潟ほか	新潟県新潟市	亀田郷土地改良区 〒950-0148 新潟県新潟市東早通1-2-25 TEL: 025-381-2131 FAX: 025-382-6577	・地域用水機能増進事業(農水省、新潟県、新潟市補助事業)として、農業水利施設や農業用水の利活用や管理を地域住民とともにワークショップ等を通じて計画し、生活、環境、防火、消雪等の用水機能を復活、保全する事業を推進	・鳥屋野潟水質汚濁対策として、対策協議会(国、県、土地改良、市町村)がフラッシュイニング事業(S61年度)を計画し、農業用水取入口から農業用排水路を利用して非かんがい期に鳥屋野潟に浄化用水を入れている	河川	石月 升	NPO法人新潟水辺の会	
34	*	4中部	A	農業用水路におけるイバラトミの保全活動	新潟県新発田市	NPO法人加治川ネット21 http://www.inet-shibata.or.jp/ kjn21/	・NPO法人加治川ネット21では、新発田市六日町集落の農業用水路で絶滅危惧種のイバラトミが発見されたことをきっかけに、集落でのアンケート調査や勉強会を実施し、イバラトミを理想とする農村環境の指標種とし、農村作物の安全 安心のシンボルと位置付け、加治川流域一体の生息環境の保全を目的とした活動を行っている。 分布状況や生息状況調査のほか、土地改良区との調整でほ場整備地区から除外するなどの保全対策が行われている。		河川		NPO法人加治川ネット21	・第5回 川の日」ワークショップエントリー ・第6回南東北 川 水環境」ワークショップ

	地域ブロック	分類	用水名	所在地	管理者	NPO,住民との関係	概要・その他	水源	報告者	調査団体候補	備考
35	5近畿	B	ガラン水路	大阪府摂津市	摂津市土木下水道部 TE 106-6383-1111	・せせらぎが甦ったガラン水路は、地域住民の憩いの場として親しまれているほか、地元自治会、商店街を中心に平成12年の発足した「ガラン遊歩道美化会」による清掃や草花の手入れなどの活動を通じて、地域のコミュニケーションが育まれている。	・摂津市の香露園地域を流れるガラン水路は、周辺地域の市街化や公共下水道の整備が進んだことで、治水や利水といったそれまでの役割を終え、水の流れない水路となっていた。このため、建設省の水循環再生下水道モデル事業により、下水処理水を利用したせせらぎや植栽、遊歩道などを設け親水性のある水路として整備した。	・下水処理水			
36	* 5近畿	B	御領水路	大阪府大東市	大東市水道部水政課 TEL:072-870-9674	・水路の整備計画段階から地元住民も参画して計画を立案し、整備完成後には一部の管理を地元で担うアップト制度を採用する計画	・御領水路は、大東市の北西部に位置し、水路に沿って段倉が建ち、田舟が浮かぶ昔ながらの古い町並みを残す地域である。近年の田畑の減少による水路の分断や下水道整備による水量の減少により流れがなくなり水質の悪化が問題になっていた。 ・その対策として、寝屋川流域下水道鴻池処理場の処理水を御領水路まで送水し、水路の水質改善を行うとともに、古い町並みに調和した親水性のある水辺空間「水郷の町御領」の復活のための水路整備が行われている(平成16~20年度事業)	・下水処理水		川上 聡	
37	* 7四国	A	上井川(兼山三叉周辺)	高知県香美郡野市町西上野	野市町役場建設課 〒781-5292 高知県香美郡野市町西野2706番地 TEL 0887-56-3916(直) FAX 0887-57-1375	・当初の計画は役場が行ったが、これに住民、所有者である利水組合が加わって案を練り、現在は地域住民の憩いの場になっている。	・兼山三叉は町指定の史跡。江戸時代、土佐藩奉行の野中兼山が、物部川の灌漑用水を5水路に流量配分するために造った。分水機能は現在も利用されており、周辺は「新四国のみち」として整備され、散策、ゲンジボタル観賞、花見等に利用されている。	河川(物部川)	福永 泰久	福永泰久	
38	7四国	A	吾南用水(弘岡井筋)	高知県吾川郡春野町弘岡	用水の所有者は「吾南用水組合」 用水の環境的な利活用 高知県春野町役場 産業建設課「あじさいまつり」係 〒781-0392 吾川郡春野町西分15 TEL(代表)088-894-2311	・「あじさい街道」は昭和50年頃、弘岡下老人クラブの花好き4~5人が10数本のあじさいを植えたことが始まりで、老人クラブの花いっぱい運動へと発展し、花の帯は年を越す毎に長くなり、「あじさい街道」とまで呼ばれるようになる。毎年6月の第一日曜日、町内外から多くの人々が訪れ、街道沿いのあじさいの花と、用水路を流れる仁淀川からの清らかな水とのコントラストを楽しみながら「あじさいウォーク」が開催される。	・初夏、四国霊場三十四番札所種間寺を訪れる人々、水路沿いを散策する人々の目を楽ませる紫陽花には藩政時代に水路整備をした野中兼山に対する感謝の気持ちといつまでも美しい春野を守り続けるという気持ちが込められている。春野のまちを網の目のように整備された用水路。町の人々の暮らしに欠かせないこの用水路を人に愛され、文化の薫る水路にしようと、住民と町が力を合わせて始めた「あじさいの町づくり」は町を代表する名所「あじさい街道」として、広く人々に親しまれている。6月は田園とのコントラストも美しく、街道沿いに約1万本、町内では2万本のあじさいが、色とりどりの花を咲かせる。	河川(仁淀川)	福永 泰久		
39	* 8九州	B	農業用水路における生態系保全型排水路	大分県竹田地区平田地区	大分県農林水産部農地整備室 TEL 097-536-1111内線(3711,3712) FAX 097-535-0289 大分県竹田直入地方振興局耕地課 TEL 0974-63-1175・1176 FAX 0974-63-1894	・豊かな森林や水田は、水資源の涵養・土砂流失防止・栄養分の供給などにより、その下流域に棲む水棲生物の育成に役立つ。近年は、保健休養や情操教育の場としてその重要性が認知されていることから、昔はどこの水辺でも見ることのできた魚や水棲生物を取り戻そうとする試みを地域の取組みとして行っている。 ・整備に際しての野生生物の引越し作業は、子どもや地域住民も参加し、生態系保全型田んぼや水路の整備保全が進められている。		河川(湧水)		大野川流域ネットワーク NPO法人河童倶楽部	
40	8九州	B	大分市城址公園の堀	大分県大分市	大分市下水道部 下水道施設課 Tel (097)537-5642 E-Mail gesuisisetu@city.oita.oita.jp		・大分市の城址公園(府内城史跡)の堀の汚濁水を排除し、さらにヘドロを浚渫した後、オンソ処理 砂ろ過で高度処理して、修景用水の水質基準を満たす処理水を送水して堀を甦らせた。通常のせせらぎと異なり、滞留状態での水管理を必要とされるため、水理模型実験等により検証を行いつつ、事業を実施した。 ・また、アメニティ下水道モデル事業として、弁天終末処理場の処理水を活用し、堀水及び隣接する中島雨水幹線のせせらぎを回復した。	浄化水	幸野 敏治		昨年度(三菱総研)ヒアリング調査済み

051222の調整結果を受けた調査対象候補地20事例

- A NPO、地域住民等が仕掛けた事例または官民協働で行った事例
- B 環境用水としての水源や利活用でユニークな事例